



「Back To The Basics」： 当たり前前を当たり前にする

永嶋利久 日本ケンタッキー・フライド・チキン(株) フランチャイズサポートコーチ

1985年日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)に入社。直営店店長、直営店エリアコーチを経て、現職のフランチャイズ営業ユニットに所属。2004年スーパーバイザー士を取得。

フランチャイズビジネスがいかに社会生活に必要な不可欠な存在と仕組みであることを改めて実感しております。また同時に、チェーン展開における発展・維持・向上の困難さを更に痛感しております。その中で働く者として、今回のフランチャイズ経営士講習は、国内外における今後のフランチャイズビジネス発展に寄与するものであることを信じさせていただきました。

当社は1970年に設立し、間もなく40周年を迎えますが、本年3月に中期経営計画を発表しております。私どもの企業理念は、『おいしさ、しあわせ創造企業』です。それを成し遂げるためのミッションステートメントとして、次の項目を掲げています。

1. 食の「安心・安全」を通じ、人々の健康づくりに寄与し社会に貢献する
2. おいしさを創造し、お客様に楽しく、豊かで、しあわせな生活を提供する
3. このビジネスで働く人々をしあわせにする

自分達だけが幸せになれば良いのではなく、社会・お客様・お取引先・ここで働く人、いわゆるステークホルダー全てが幸福になることを目指しているのです。そのためには、まず人材育成と組織能力の強化が基本となり、激動する社会環境やさまざまな変化に迅速に適応していかなければならず、今こそまさに基本に立ち返る必要があります。単純な応用だけでは通用しません。弊社の基本的な考え方として、1つには、足元固めをしっかりと行うことが挙げられます。単に店舗数や売上の拡大を優先して

事業経営を行うのではなく、出店政策や店舗コスト構造等、KFC事業、ピザハット事業ともに収益性を見直し、再度、足元固めをしっかりと行おうとしております。

2つ目に、将来の成長に向けた「前向きな攻めの施策」を実行しようとしております。過去の成功体験にとらわれることなく、自身を解き放ち、現状延長型の発想から脱した上で、将来の成長に向けた前向きな攻めの施策をスピード感をもって実行しようとしております。基本と応用が両輪となって進んでいく必要があります。

そうした中、当社は社会貢献活動や環境問題にも取り組んでおり、CSR(企業の社会的責任)に関する活動レポートを毎年発行しております。『おいしさ、しあわせ創造企業』の実現を目指した地球環境保全や社会貢献活動の取り組みに関するこれまでに実践してきた活動内容と成果を報告しております。

一般的に、今のような時代、予期せぬ出来事や難問が降りかかってくることは覚悟しなければならぬと思います。それに迅速、かつ、的確に対応していくことの出来る人材を育成するためにもフランチャイズ経営士が今後も増え続けて、さまざまなビジネスモデルを構築していき、皆で幸福を享受していきたいものと思います。

協会の方々、講師の方々、同じ受講者の方々には大変お世話になりましたこと、勉強させていただけたことに深く感謝しております。ありがとうございました。